

大槌町「文化財講座のご案内」

主催 大槌町教育委員会・いわて高等教育コンソーシアム
・岩手大学・岩手歴史民俗ネットワーク

大震災後に大槌町で実施された文化財調査の成果などを中心に「大槌町の文化財」について考える講座を開催いたします。ぜひご参加くださいますよう、ご案内いたします。

12月1日（土） 13:30～15:30 （受け付け開始 13:10）

佐藤由紀男(岩手大学教育学部教授) 「大槌町における文化財の確認調査」

大石泰夫(盛岡大学文学部教授) 「前川家の民俗伝承—虎舞の伝播をめぐって」

12月2日（日） 10:00～12:00 （受け付け開始 9:40）

安田隼人(盛岡市都南歴史民俗資料館指導員) 「大槌町の現存史料とその活用」

兼平賢治(東北大学大学院文学研究科研究助手) 「救出史料にみる前川家と盛岡藩政」

会場 大槌町中央公民館 3階 第一会議室

(大槌町中央公民館 〒028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割126)

入場無料

※参加希望の方は、11月26日までに、大槌町教育委員会 生涯学習課まで申し込んでください。

1日のみの参加も可能です。

※問合せ・申し込み先 大槌町教育委員会 生涯学習課 電話 0193-42-2300

スケジュールと講座の内容

12月1日(土) 13:30~14:00

佐藤由紀男(岩手大学教育学部教授) 「大槌町における文化財の確認調査」

大槌町において文化財の被災状況の調査を2011年9月~2012年1月にかけて実施しました。その内容とこうした文化財調査の意義についてお話ししたいと思います。

12月1日(土) 14:10~15:10

大石泰夫(盛岡大学文学部教授) 「前川家の民俗伝承—虎舞の伝播をめぐって」

陸中沿岸の虎舞には、前川家との関わりで起源を説明するところがあります。また、前川家が陸中に来る前にいた伊豆半島の下田にも虎舞が伝承され、その虎舞と芸態が似ている籠獅子という民俗芸能も近隣に伝えられています。また、虎踊りを伝える三浦半島の浦賀は前川家と関わりが深かった地です。このようなことを考えると、陸中沿岸の虎舞の起源を前川家と結びつけるという民俗伝承も決して軽視できるものではありません。今回の講座では、前川家が虎舞を陸中にもたらしたということを前提に、前川家と虎舞について講じてみたいと思います。

※15:10~は質問などの時間です。

12月2日(日) 10:00~10:40

安田隼人(盛岡市都南歴史民俗資料館指導員) 「大槌町の現存史料とその活用」

被災文化財調査によって、震災後も町に現存する資料があることがわかりました。今後はこれらの資料をどのように活用していくのかということが課題となるでしょう。今回は、このことについて 岩手歴史民俗ネットワークの活動を踏まえてお話しをしたいと思います。

12月2日(日) 10:50~11:45

兼平賢治(東北大学大学院文学研究科研究助手) 「救出史料にみる前川家と盛岡藩政」

「善兵衛とて南部第一の富家あり」と、盛岡藩を旅した人物の紀行文に記されるほど、全国に知られた豪商前川善兵衛家。人・物の移動が盛んになる一方で、飢饉にも苦しめられた18世紀に前川家は隆盛を極め、また困難にも直面します。今回の震災で被災し、救出された史料から、前川家の歴史を盛岡藩政の動向とともに読み解きます。

※11:45~は質問などの時間です。また2日目は全体を通しての質問やご意見も受け付けます。